

2018年(平成30年)3月22日(木曜日)

データテック◆SRお客様交流会

事故防止対策を共有

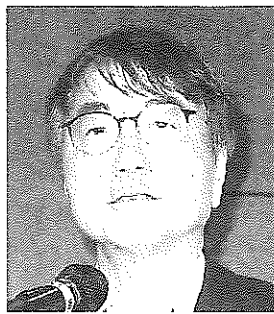
支援強化へ組織変更

データ・テック(田野通保社長、東京都大田区)は9日、第26回SR(セイフティレコーダ)お客様交流会を開き、SRを活用した事故防止対策を共有した。

田野社長は「SRは全国で1千社、11万台使ってもらっている。お客様への支

援を強化しようと、1日付で組織変更した。お客様センターを、SRを利用するための準備段階をサポートする運用支援グループと、SRの実際の運用を支援するプロジェクト支援グループに分けた。既存の顧客でも担当者が変わったりした

場合などに、運用の仕方や点数の意味を教えるなど支援できるケースがある。これまで以上にアフターフォローに注力していく」と強調した。



「アフターフォローに注力する」と田野社長

ロジバルエクスプレスの赤石沢慎氏が「SRの活用で事故ゼロを目指す」をテーマにし、2009年にSRを導入、10年に全社で運用を開始した経緯や、SRの得点向上率などを競う「となぎ上りきんぱーん」について講演した。

新企画「取り組みの達人に聴く」では、SRやフォークリフト版SRを導入した5社が事故を減らすための独自の取り組みを説明した。(高橋朋宏)